

議会のひろば

ギ カ イ

2020年(令和2年)4月25日発行

特集

●議会報告会

「夢と希望がもてるまちづくり」を考える

No. 19

2020 APR.

新型コロナウイルスに負けない!!
—感染拡大防止—



手洗いチェッカーによる確認



●表紙 4月6日 正しい手洗い方法を体験(新型コロナウイルス感染予防)

市内の企業で行われた「手洗いマイスター(県認定)」による講習現場取材しました。感染から自分を守る手洗いのポイントを学び、正しい洗い方で、よりきれいになることを体験しました。(突ゲキ生レポートより)

●もくじ

特集

議会報告会

「夢と希望がもてるまちづくり」を考える 2

議員18人に聞きました

私が思う「夢と希望がもてるまち」とは 4

【令和2年第1回定例会】 5~15

・新年度予算審議「私はここに着目した」... 6~7

・一般質問(ダイジェスト版) 8~15

議会の「フォト」広場 16

・飛び出せ議員! 「突ゲキ生レポート」

編集後記 16

●議会報告会
「夢と希望が
もてる
まちづくり」
を考える

令和2年1月24日(金曜日)に、市民との意見交換会をメインとした議会報告会(7回目)をイルフプラザ3階で開催しました。改選後初めての開催となり、「夢と希望がもてる岡谷市を考える」議員と語りうおかやの未来」と題し、昼の部では60名、夜の部では45名、合計105名の市民の皆さんにご参加いただき、大盛況となりました。「夢と希望がもてるまちづくり」を共通テーマに、Aグループ(総務委員会)、Bグループ(社会委員会)、Cグループ(産業建設委員会)に分かれ、それぞれ自由に意見交換を行いました。昼の部においては、参加者増により、急きよ、Dグループを作りました。



■総務委員会(Aグループ)で出された意見と対応
総務委員会のグループでは、「転入者、とりわけアパート住民の区への加入が少ない。茅野市では条例で区加入を促しているが、市として積極的な取組ができないか」「高齢化、区民減少による役員の成り手不足」など、区行政運営の厳しい状況について多くのご意見をいただきました。区加入の促進について市担当課に確認したところ、窓口に転入者等へ区加入のメリットを記載した市区長会と市の連名のチラシ「区に加入しよう!」を配布し、入区案内を行っているとのことでした。茅野市では、入区を義務付ける入区条例の制定を検討されたようですが、難しいとの判断がされ、当市同様、入区の重要性を説明しながら入区案内をしているとのこと。

■社会委員会(Bグループ)で出された意見と対応
多くのご意見をいただき、全て今後の課題としてとらえておりますが、ここでは一部のご意見についてご紹介いたします。子育て世代の女性と、食育について研究をされている女性より「体を作る重要な時期に、添加物又は輸入小麦が多く使われており食育や給食について配慮が不足している」とのご意見がありました。この件につきましては、より理解を深めるための取り組みを検討してまいります。見守り隊をされている方より「歩道と車道の区別がない場所や、白線が消えている場所があり危険である」とのご意見に、早速委員による現地確認及び担当部署との打ち合わせにより、即対応いたしました。その他「人口減少に伴う公共料金の負担額や、区の存続」など大変に重要なお意見をいただいております。



■産業建設委員会(Cグループ)で出された意見と対応

産業建設委員会のグループでは、産業面で、「市内企業就職のための高校生へのPRの充実や諏訪地方の特性(乾燥し、製品が錆びにくい)を生かした、製造業の企業誘致について」ご意見をいただきました。いずれも、重要な課題と認識しています。「創業支援を受けたが、事業拡大に対する支援について」のご意見には、その企業を訪問し、市担当課の状況を伝えてきました。観光面では、「市内への誘客促進のため、カリスマ性の高いスカイラインミュージアムを活用すべき」とのご意見がありました。今後、観光周遊ルートの検討を進めていくとのことでした。その他、「県や市の支援体制について、景気動向の情報発信について」といったご意見が出されました。

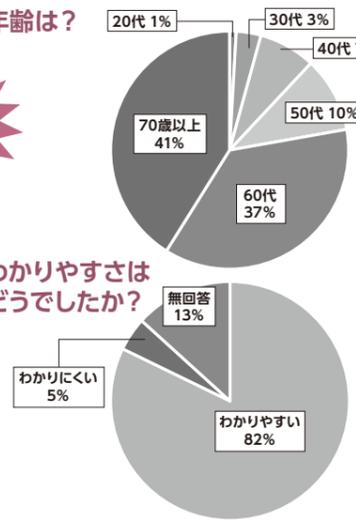
■昼の部(Dグループ)で出された意見

「若い世代や女性の声をまちづくりに生かしてほしい」「自然災害・少子高齢化・人口減少」という将来の課題の解決方法として、「防災対策、広域連携なども考えてほしい」といったご意見をいただきました。

いただいた
105人、124の声!

その声を整理し、
今後の議会活動に
取り上げていく

■アンケート結果(抜粋)
■出席者105名(回答者90名)



●お住まいは?

(市内内訳)	(人)
○上 浜	12
○今井・小井川	各9
○三 沢	8
○東堀・間下・その他(市内)	各5
○花岡・小尾口・その他(長地)	各4
○駒沢・中屋・新倉	各3
○西堀・岡谷・小口・下浜	各2
○横川・橋原・新屋敷・鮎沢・中村・その他(川岸)	各1

●内容はいかがでしたか?

・時間の都合もあると思うが表面的な感じがした。
・議会改革の説明、資料があるとわかりやすかった。
・わかりやすかったが、簡略すぎる。
・もっと実効のある活動報告してほしい。
・もう少し報告時間があると良かった。

○私たちの大きな「夢」(漢字)がみえますか？

◆ 反対討論(反対意見)
 ▼3年連続の引き上げは、加入者の暮らしを際限なく苦しめていくこと

○ 討論の概要
 国保会計は独立採算制が原則であり、加入者の方に一定の負担をしていただくことが制度上の基本。国では、法定外の繰り入れを計画的に解消、削減させるため、市町村に本腰を入れて解消、削減に取組むことを求めている。また、新たな法定外の繰り入れはすべきではないと考えている。

◆ 賛成討論(賛成意見)
 ▼財政基盤の安定化、税負担の変動の軽減を図り、持続可能な制度として運営していくことが大切である。複数年に及ぶ税率改定により、国保税の急激な上昇を緩和すること、また、県内で統一された保険税率で財政運営できるように努めてもらうことを期待し、本議案に賛成する。



定例会本会議

◆ 賛成討論(賛成意見)
 ▼財政基盤の安定化、税負担の変動の軽減を図り、持続可能な制度として運営していくことが大切である。複数年に及ぶ税率改定により、国保税の急激な上昇を緩和すること、また、県内で統一された保険税率で財政運営できるように努めてもらうことを期待し、本議案に賛成する。

○ 第1回定例会(全会一致により可決等された議案等一覧)

議案番号	件名	議案番号	件名
報告第1号	専決処分の承認を求めることについて(令和元年度 岡谷市一般会計補正予算(第8号))	議案第11号	岡谷市看護専門学校条例の一部を改正する条例
報告第2号	専決処分の報告について(和解及び損害賠償の額の決定について)	議案第12号	岡谷市環境基本条例の一部を改正する条例
報告第3号	専決処分の報告について(令和元年度岡谷市一般会計補正予算(第9号))	議案第14号	岡谷市営住宅条例の一部を改正する条例
議案第1号	岡谷市固定資産評価審査委員会委員の選任について	議案第17号	令和2年度岡谷市地域開発事業特別会計予算
議案第2号	岡谷市等公平委員会委員の選任について	議案第18号	令和2年度岡谷市分収造林事業特別会計予算
議案第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	議案第19号	令和2年度岡谷市霊園事業特別会計予算
議案第4号	岡谷市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	議案第20号	令和2年度岡谷市温泉事業特別会計予算
議案第5号	岡谷市手数料条例の一部を改正する条例	議案第22号	令和2年度岡谷市湊財産区一般会計予算
議案第6号	市道路線の認定について	議案第23号	令和2年度岡谷市水道事業会計予算
議案第7号	令和元年度岡谷市一般会計補正予算(第10号)	議案第24号	令和2年度岡谷市下水道事業会計予算
議案第8号	令和元年度岡谷市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	議案第25号	令和2年度岡谷市病院事業会計予算
議案第9号	令和元年度岡谷市病院事業会計補正予算(第2号)	議案第27号	令和元年度岡谷市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
議案第10号	岡谷市監査委員に関する条例等の一部を改正する条例	議案第28号	岡谷市副市長の選任について

○ 第1回定例会(賛否が分かれた議案一覧)

議案番号	件名	付託委員会	審議結果	渡辺 太郎	藤森 博文	山崎 仁	田村 みどり	吉田 浩	中島 秀明	中島 保明	今井 義信	早出 すみ子	今井 秀実	武井 友則	今井 康善	早出 一真	小松 壮	大塚 秀樹	笠原 征三郎	遠藤 真弓	浜 幸平	
議案第13号	岡谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例	社会	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	令和2年度岡谷市一般会計予算	3常任	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	令和2年度岡谷市国民健康保険事業特別会計予算	社会	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	令和2年度岡谷市後期高齢者医療事業特別会計予算	社会	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	令和元年度岡谷市一般会計補正予算(第11号)	総務 社会	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長・議長職のため採決に加わらない ○:賛成 ×:反対



藤森 博文
 夢の実現へ道筋が示され、誰もが安心して暮らせて、次世代教育や育成に主眼を置くまち



山崎 仁
 子どもたちが胸をはって誇れる物やオシャレな場所があり活気と便利で安心して住める



田村 みどり
 自己研鑽のため、旅立つ若者に、自信を持って「帰っておいで」と言える、活気あるまち



吉田 浩
 市民と地域と行政が連携し全世代に居場所のあるまちづくり推進により笑顔で溢れるまち



中島 秀明
 夢の光景:毎週末に各種の地元プロチームのユニフォームを家族で着て共に応援する光景



渡辺 太郎
 希望すれば誰もが必要な教育を受けられ、自らの可能性を開き、成長・挑戦できるまち



中島 保明
 子どもに豊かな自然、大人に充実した子育て環境と働きがい生きがいを持つ職場と地域



今井 義信
 基幹産業の維持のため、若者も含めた就労者の労働環境や、社会保障が整えられること



早出 すみ子
 ひとり、ひとりが活き活きと、笑顔で安心して平和に暮らせるまち

★議員18人に聞きました。私が思う「夢と希望がもてるまち」とは



今井 秀実
 子どもたち、若者たちの元気な声が響く中、大人も高齢者も一緒に元気に過ごすようなまち



武井 友則
 存在価値を感じられて、暮らすことに誇りが持てるまち。満足感を持って働けるまち



今井 康善
 全世代の人々が現在そして将来、自己実現の為にチャレンジできるコミュニティがあるまち



早出 一真
 持続可能な経済成長をする中で、市民誰もが幸福を感じ、人が集い賑わいのあるまち



小松 壮
 若者が魅力あるまちこそ、夢と希望が持てるまち。「夢への架け橋と賑わいのまちの創出」



大塚 秀樹
 安全安心で自然と都市機能が豊かで人々がお互いを共生しあえるまち



笠原 征三郎
 少子高齢化という言葉がなくなり、長寿が本当に祝福され、安心して子育てができる社会



遠藤 真弓
 まるで登山道のように、こんにちは!と見知らぬ人とでも当たり前挨拶が交わされるまち



浜 幸平
 すべての世代に充実した公共サービスを提供し、健康的で住みやすさが実感できるまち

※掲載は議席番号順

夢の実現に向け、議員一同、日々まい進中!

議会報告会で市民の皆様からいただいた貴重なご意見を、今後の議会活動で取り上げ、議員間で討議し、政策提案等につなげていきます。

(右写真:令和2年3月27日議会改革検討委員会の様子)



◆議案第15号
令和2年度岡谷市一般会計
予算中担当部分

各常任委員会での委員からの
主な質疑及び市側の答弁
並びに審査結果

総務委員会

シルキーチャンネル

視聴率向上の取り組みと
今後の方向性について

問 市民参加のイベント、講演会、市の事業等の紹介、災害時の緊急放送など、関心が持てる内容になるよう取り組んでいる。次回更改に向け、SNS等を活用した情報発信の研究を行いながら、事業の必要性・費用対効果について再検討してまいりたい。

インスタグラム フォトコンテスト事業

ターゲットの年齢層と
事業内容について

答 インスタグラムの利用の多い若年層をターゲットにしているが、年齢制限はつけず、誰でも応募できる。写真部門と動画部門があり、7月から9月頃開催する予定。2次審査まで通過した10作品を市の公式アカウントへ掲載し「いいねボタン」を押しもらう

ほか、市役所内に掲示して投票してもらい、最優秀賞等を決定する。

ファースト チョイスブック事業

事業内容について

答 3歳児が対象。3歳児健診時にイラスト付き図書館利用カード引換券をプレゼントする。初めて自分のカードで選べる機会と、楽しみの創出を図ることを目的としている。来館時に対象児童を写真撮影し、アニメーションカードとして渡す。

○討論の概要

反対討論(反対意見)

▼各区が望む行政事務交付金の算出方法ではない、小中学校の英語教科に伴う児童生徒、教師への新たな負担増、消費税増税分による使用料等の引き上げ継続、職員の正規、非正規の格差など多くの問題があることから、本議案に反対する。

賛成討論(賛成意見)

▼市民サービスの向上、健全育成への取り組み、移住定住、防災減災等多岐にわたる課題に対処すべく、きめ細かい施策展開に向けて予算編成されている。持続可能な住民サービスの提供を要望し、本予算に賛成する。
※委員会では、賛成多数により、原案のとおり可決されました。

産業建設委員会

オカヤペイポイント発行事業

オカヤペイとはどういうもの？

答 オカヤペイは、キャッシュレス決済とポイント機能を持ち合わせたカードである。現金をチャージして電子マネーとして利用出来、購入時にポイントが付けれられ、そのポイントも買い物に使える。

モノづくり集積地SUWA のヒトづくりプロジェクト

主体や目的、中身は？

答 諏訪圏5市町村連携によるSUWAブランド創造事業であり、岡谷市が代表市として、基幹産業である製造業に関わる技術の高度化と人材育成を行う。引き続き、信州大学、諏訪圏ものづくり推進機構に委託して、事業を進化発展をさせていく。

道路新設改良事業

工事請負費が前年より約2億円減額されているが？

答 新西堀保育園周辺整備等の大きな工事が減ってきていることが主な理由。一方で、各区からの要望に対する箇所付け工事予算である一般新設改良事業費は、増額計上となっており、地域の要望に応える予算になっている。

教育関係に予算が十分に行き届いているか
笠原征三郎

新時代への対応と地域資源の積極的な活用
渡辺太郎

若者や子ども、未来へ向けた予算であるか
武井友則

歳入確保と、財政の硬直化を招いていないか
早出一真

子ども達の育ちに適している教育事業内容か
田村みどり



教育環境のICT化実現で学びの機会充実を
今井康善

総務委員会予算審査

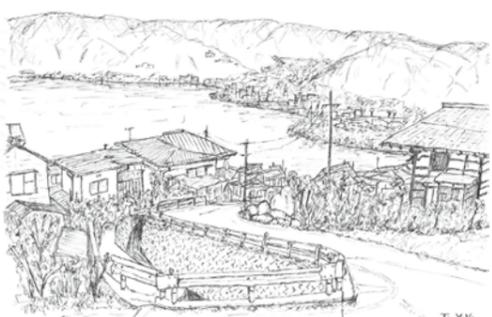
私は、ここに
着目した!

社会委員会

認知症体験会

体験会の開催目的と
対象者について

答 体験会は、バーチャル・リアリティの技術を活用して認知症を疑似体験してもらうことにより、認知症患者の方の視点で物事を考え、理解して行動することができることを目的としており、認知症に関心のある方、認知症患者の家族の方、医療や介護・福祉関係者の方を対象としている。



湾曲する湖岸

諏訪湖周サイクリング ロード整備事業

工事区間の予定は？

答 県は、石舟渡からすわっこランドまでの区間の完成に引き続き、上川まで整備予定である。また、諏訪市境から湊小学校に向けて測量設計を実施しており、令和2年度は、ヨットハーバーまでの区間を整備予定で、岡谷市側は、湊小学校から釜口水門に向けて測量設計を行なう。

○討論の概要

反対討論(反対意見)

▼小規模事業者の支援をもっと手厚くされたい。道水路等維持補修費の大幅増加は歓迎するが、まだ不足である。市営住宅の長寿命化計画により、戸数を減らすことは、市民の生活

予防接種事業

問 小児対象のBCG及び四種混合の定期予防接種について、医療機関での個別接種に移行した経過は？

答 接種後に副反応が生じた場合などの緊急時の対応について、医療機関で接種した方が、より安全であることに加え、小児の予防接種は種類が多いが、医療機関であれば同時接種が可能であり、予防接種に向く保護者の負担軽減にもつながることなどの状況を踏まえ、新年度からは医療機関の個別接種で実施する予定である。

○討論の概要

反対討論(反対意見)

▼マイナンバーカードの普及促進に向けて、ポイント付与という税の公平性にも反するような利点付与を行うため、職員体制の強化と窓口の拡充などに関する費用を計上されていることや、国保会計への法定外繰出しが全く無いことは大変問題である。また、住民要望の非常に高い福祉タクシーの台数増加や、利用者年齢の引き下げに對しても何ら応えられていないことから、本予算には反対する。

賛成討論(賛成意見)

▼市民生活に直結した健康、福祉、環境施策の充実をはじめ、次代を担う子どもの育成に對して、新規事業、拡充や安い住宅要望を考えれば、見直しや中止が必要なため、本予算に反対する。

賛成討論(賛成意見)

▼「人結び夢と希望を紡ぐ、たくましくいまち岡谷」を踏まえて、産業振興、建設水道全般にわたり予算化されている。市民の立場から考え、柔軟な姿勢で執行に努めていただくよう要望し、本予算に賛成する。
※委員会では、賛成多数により、原案のとおり可決されました。

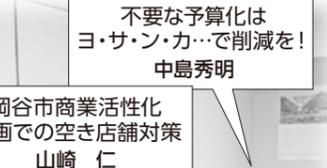
産業建設委員会予算審査
私は、ここに
着目した!



女性が働き続けられる環境づくり
遠藤真弓

円滑な進行と、本当に必要な予算なのか
今井義信

前年度比で3.1%増の一般会計の新規事業
中島保明



不要な予算化はヨ・サ・ン・カ…で削減を!
中島秀明

岡谷市商業活性化計画での空き店舗対策
山崎 仁



生活道路整備が増えたがさらに充実を!
今井秀実

ズバリ! 市政を問う!

一般質問



Q…議員の問い A…市からの答え

※岡谷市ホームページから、一般質問の詳細や録画映像の動画を見ることができます。パソコン、スマートフォンからいつでもご覧いただけます。



●一般質問とは…
議員が、市政全般にわたり、執行機関である市に対して、事務の執行状況及び将来の方針などについて考えや意見を聞き、報告、説明を求めるなど、質問をすることです。年4回の定例会において行われ、議員活動の根幹をなすものといえます。

目次

掲載は質問順です。

1. 小松 壮……8ページ
2. 今井 義信……9ページ
3. 笠原征三郎…9ページ
4. 山崎 仁……10ページ
5. 大塚 秀樹……10ページ
6. 武井 友則……11ページ
7. 中島 秀明……11ページ
8. 早出すみ子…12ページ
9. 田村みどり…12ページ
10. 遠藤 真弓……13ページ
11. 今井 秀実……13ページ
12. 今井 康善……14ページ
13. 吉田 浩……14ページ
14. 浜 幸平……15ページ
15. 早出 一真……15ページ

※掲載内容は質問者の文責によるものです。

●一般質問の順位は、3月の定例会のみ、第2日目の正午、一般質問通知締切後の休憩中、議場において“くじ”で決めます。

Q 少子化の影響による 中学部活動の実施状況

A 各校共に活動は出来ている



小松 壮

Q 部活動指導員の評価は?

A 各中学校の希望に基づき指導員の配置を行った。生徒からは、「専門的な指導員の指導を受けることができてうれしい」、「部活動が今まで以上に楽

しくなった」との声がある。顧問の先生からは、他の公務や授業準備の時間が持てるなど働き方改革につながっており、ありがたいとの声がある。

Q 少子化の影響により廃部となる前に地域クラブチームを立ち上げる考えは?

児童虐待の現状

Q 児童虐待の相談件数と傾向は?

A 相談等対応件数は、平成30年度は実件数が118件で、前年度比30件

Q 工業活性化計画の進捗状況

A 関係機関と連携し施策を講ずる



今井 義信

Q 人材確保への支援状況は?

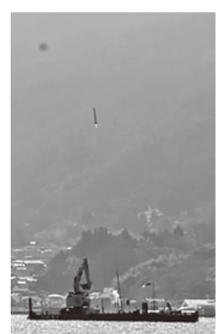
A 将来の人材確保として学生へのキャリア教育支援を行っている。

Q 事業承継の支援の現状は?

A 市内企業の優れた技術が途絶えないよう、事業承継支援に努めている。

Q IOT支援の現状は?

A それぞれの企業に見合ったIOTの導入を支援している。



モノづくり人材育成で
進められた
SRP005発射実験

子どもの育みを取り巻く環境

Q 校則やきまりに、教育委員がどうかかわっているのか?

A 学校と教育委員会が一緒になって、子どもたちのことを考えて見直し等に努めている。

Q 教員の「変形労働時間制」 の受止め

A 現時点では県の動向を注視



笠原征三郎

Q 令和3年度からの制度運用の 進め方は?

A 県が条例改正等を行えば、市として検討を行っていく。

Q この制度では、今の長時間勤務を固定化する恐れがあるのでは?

A 省令等の内容が明らかになっていない。県の動向を注視していく。

Q 教育現場の教師(組合)の意向を一番大事にすることが必要で、「今より、もっとひどい働き方になる」等の現場の声を聞かなくれば、この制度は導入すべきでないのでは?

A 現場の先生たちの意向は十分掴んでいく。



Q 子どもの心の自主性を支える ことに対して、校則や決まりは どのような意味を持つか?

A 集団生活での決まりの必要性や、自分たちで決まりを作っていくことを学ぶことが自立と共生につながる。

Q 学校によって異なる規則や決まりを統一する考えはないか?

A 生徒たちが自分たちで考え、決まりを作っていくことを学校や教育委員会が支援している。

成人式の今後

Q 成人式の対象年齢は?

A 現在、令和4年度に成人を迎える

区への補助金の増額を要望

Q 行政事務交付金を増額する考えはないか?

A 平成28年度から令和2年度までは2350万円の交付となっており、令和3年度からは、区長会と協議しながら検討する。

Q 区への事務依頼の負担軽減は?

A 今後も、区長会との話し合いの中で、意を配していきたい。

Q 区の役員が出席する会議やイベントは、どの様なものか?

A 区長会に委嘱をお願いする役割に

Q 予防と対策の考えは?

A 子育て家庭に寄り添いながら、切れ目ない支援と、要保護児童対策地域協議会をはじめ、関係機関等との連携を強化し、そのネットワークを活かしながら、児童虐待発生予防、早期発見・早期対応に努めてまいりたい。

職員の職場環境

Q 職員のやる気を最大限引き出す取り組みについての考えは?

A 人を育てる職場環境として3つのポイントを掲げている。一つ目は「職場環境の醸成」、二つ目は「健康管理」、三つ目は「ワークライフバランス」。良好な職場環境の構築に向けて、意を配してまいりたい。

文化財保護

Q 古文書資料の積極的な収集の考えは?

A 資料提供の呼びかけについては現在行っていないが、収集は大切と認識しており、検討をしている。

Q 建物解体業者と連携した古い資料の調査ができないか?

A 資料収集の一定の基準を検討する中で、提案いただいた手法も含めて研究する。

カーブミラー設置の要望

Q カーブミラー設置の要望が最近実現されないが?

A カーブミラーばかりに気を取られ、自転車や歩行者等との事故が起こる場合があるため。

Q 岡谷市でそのような事故が起こっているか。通学路等要望があれば設置していくべきだが?

A 岡谷市では事故は起こっていない。岡谷警察署の助言をいただき、必要な箇所については、設置を検討していきたい。

Q どうなる？ 商店街と後継者不足の現状は？

A 後継者いない、未定7割



山崎 仁

Q 私が小学生の頃は中央通り商店街は色々な目新しい業種のお店があり、夜中まで大勢の人がおり賑わいを見せていた。しかし現在は空き店舗が増え、夜は暗くて人通りが少

ない。そこでレイクウォーク岡谷からイルプラザまでの商店街の現状はどうか？

A 令和元年度調査では、営業店舗42件、住宅15件、空き建物15件。空き店舗の利活用は老朽化、複雑な権利関係などで進んでいない。



Q 店舗の後継者不足の現状は？

A 平成29年度の意識調査では、60、70歳代が全体の半数を占める。後継者がいない、未定との回答が全体の7割で、将来的には半数以上の商店がなくなる可能性があるとの指摘を受けている。

Q AI・RPA導入検討

Q 導入により業務効率化や人手不足解消と聞くが、AI・RPAとはどんなシステムなのか？

A 職員が手入力するパソコン処理などを自動化するシステムであり、業務処理能力や速度向上、ミスをなくすることが期待できる。

Q 令和元年度に実施した会議録作成支援システムの実証実験の結果は？

A 1カ月の実証実験の対象は32会議あり、システムの使用により約3割の作業時間短縮が図られた。職員からは作業が楽になるとの意見があった。

Q 旧岡谷小学校の跡地は

Q 岡谷小学校跡地を子どもたちが楽しめる場所となるように、有効活用できないか？

A 里山化が前提で遊具の設置計画はないが、子ども達が自然に親しめる場所にしたいと考えている。

Q 伐らない林業については？

A 本市の林業は、森林の造成及び伐採による木材の活用が主となっており、木の伐採に頼らない林業の取り組みについては、現在把握しているものはない。



大塚 秀樹

Q 新年度予算について

A 創造と前進の年と位置づけ

Q 事業の廃止や見直しにあたり配慮した点は？

A 義務的経費・投資的経費・臨時的経費を除いた全ての経費について、一般財源ベースで令和元年度当初予算額の範囲内により予算を編成した。限られた予算のなかで将来にわたり安定的な財政運営に向けて、必要な見直しは絶えず行っていく。

Q 人口減少、少子高齢化による喫緊の課題への取り組みは？

Q 教育におけるICT活用の重要性は？
A ICT環境の充実を図る



武井 友則

Q 文部科学省の策定した「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画」について、本市の進捗状況は？

A 令和元年度末で、各校1クラス分のタブレット端末を配備。国の目標で

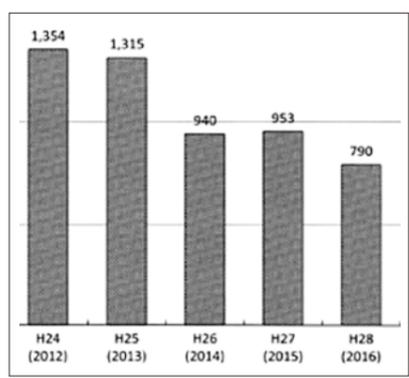
Q 国の配置目標「ICT支援員4校に対して1人」の体制については？

A 現在は1人。拡充、活用が課題となっている。

★要望：ICT支援員は子どもに対する教育の充実や教員の負担軽減の為に重要。確実な確保を。

Q 学校の災害時の対応

Q 災害発生時にすぐに保護者が迎えに来られない場合の対応は？



粗付加価値額の推移 (出典：岡谷市工業活性化計画から抜粋)

Q 産業拠点であるテクノプラザおかの創業支援に向けた取組は？

A 岡谷で創業した企業に対し企業訪問等による情報交換や資金面の支



学校に配置された情報端末

A 各家庭の緊急連絡先を複数登録し、連絡体制を整えている。連絡がつかない場合などは学校の指定された場所子どもを預かり安全を確保する。

Q 登下校中の通学路で災害が起きた場合の対応は？

★要望：帰宅が困難になり長期避難が必要になった場合、アレルギーのある子どもが安心して食事ができるような非常時個人用食料や、常備薬の備蓄を。

Q 自分自身の身の安全を確保し、自宅か学校の近いほうへ、または安心の家に避難する事をルール化。教職員についても児童生徒の誘導や通学路の点検にあたるようにしている。

★要望：日頃子どもを守る安心の家として子ども達を見守っていたいという方に、感謝の気持ちを伝える機会の設定の検討を。

Q 第2次岡谷市スポーツ推進計画と地域の商業・観光への取組は？

A プロチームの試合開催やメダリストとの交流等の取組の継続によるスポーツの普及と、諏訪湖周のサイクリング等の活用で商業や観光の振興に向けても取組んでいく。
★要望：プロスポーツとの連携や商業・観光との連携にはスポーツコミッションのような組織が不可欠。その実現に向けた取組の検討を。



市政懇談会

Q 誰ひとり取り残さない約束

A エスデージーーズ



早出すみ子

Q 岡谷市のSDGs持続可能な開発目標は？

A まちづくりの第5次総合計画と重なる。子育て支援や福祉の推進、学校教育の推進・産業の振興、環境保全など17の目標達成につながる。

★要望：市民ができることも数多くある。施策と合わせてSDGsのPR。

ダブルワークの若者たち

Q 若者の収入実態は？

A 年齢別の平均賃金は、19歳から30歳代前半で17万7800円から、27万3500円。

Q 若者は8時間働き、バイトもしてやっとな生活を支えていると思うが、最低賃金は？

A 東京都は1013円。15県は790円。長野県は848円。

Q 地域の格差はなぜあるか？

Q 湖周2市1町のごみ処理手数料の今後は？

A 将来的には統一が望ましい



田村みどり

Q 家庭ごみを有料化したことによる具体的な効果と手数料による収入の状況は？

A 有料化することによって、家庭から出されるごみの量が急激に減少し

A 地域毎の人口や物価の違いなどの実状を踏まえ、総合的に決定している。

Q 働き方の実態の受け止めは？

A 産業や経済の活性化に努力し、賃金上がるまちづくりを目指す。

★要望：東京都岡谷市も生活費はほとんど違いはなく、一律最低賃金が1500円必要である。中小企業の支援策と全国最低賃金制への移行を市として県、国に要望を。

男・女はこうあるべきだ？

Q ジェンダーとは？

A 社会通年や慣習の中で社会によって作り上げられた性別。

最近、運動してますか？

Q 市民の体力向上への取り組みは？

A 今年度より新たにスポーツ&健康高齢者運動促進事業として「シニアスポーツデー」を実施して、シニア世代のスポーツ環境の充実を図る。また、子どもたちの体力向上への取り組みの、岡谷市独自の事業として、小学校1・2年生の体育の授業にスポーツの専門指導員を派遣する「かがやけおやかキッズ体力アッププログラム」を継続的に実施して、運動・スポーツを「する子」「しない子」の2極化の解消に努める。

Q ジェンダーギャップ指数は？

A 153カ国中、121位

Q 暮らしの中のジェンダーは？

A 「家事、育児、介護は女性がやるべき」「地域の役員は男性がやるべき」等の性別による役割分担。「男の子だから泣いてはダメ。女の子だからこれをしてはダメ」等、無意識のうちに性別で違う言葉がけをしている。

Q 男女共同参画プランVIにLGBT、ジェンダー平等の明記と具体策は？

A ジェンダーの視点に基づき、多様性を認め、理解を深めるよう、正しい知識普及のために広報、啓発を推進する。★要望：具体策の開示を。

見直された防災ガイド

Q 「岡谷市防災ガイド」内の白紙のページ、我が家のハザードマップの活用方法は？

A 防災ガイドは、市民一人ひとりや家族の「自助」を再確認する機会と位置付けている。このページを作成することによって、それぞれの防災・減災意識を高めていただきたい。



Q 教育長の受け止めは？

A キャリア教育の視点からも大変有意義。すべての学校で福祉教育に取り組んでほしい。職業観の育成に大いにつながるものと考えている。

Q 中学生のおこなった発信が、思いがけず介護職のイメージアップにつながったと思うが？

A 介護に理解や関心を持つてもらえること、職業観の育成に大いにつながるものと考えている。

★要望：介護の職場環境の整備は進んでいる。働く人の増加で資質や専門性がある。介護職が魅力のある仕事だという強い発信を。



昨年の台風後の諏訪湖

暖化防止啓発事業を実施。ソフト面で地球温暖化防止を推進するため再開は考えていない。

介護を取り上げた総合的な学習の時間(中学生)の成果が、諏訪湖ハイッで模造紙発表されたことについて

新型コロナウイルスについて

Q 新型コロナウイルス感染症の危機管理体制はどうなっているか。専門医療機関、医薬品、検査体制等は十分なのか？

A 2月25日に「岡谷市新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、対応している。市民にチラシを配布し周知していく。

Q 市民病院の感染症病床は？

A 岡谷市民病院には、4床の感染症病床がある。

一般病床を感染症病床として利用することは、他の入院患者への感染



咳エチケットを知らせるチラシ全戸配布

Q 介護保険「改善するな」という声を国に

A 介護職員処遇改善を求める



今井 秀実

介護保険について

Q 低所得の施設入所者に対する食費・居住費補助の圧縮の問題について、検討の動きをどう捉えている

Q 昨年の台風、オーストラリアの山火事、熱中症、大規模停電等々気象災害が明らかになっているが、第4次岡谷市環境基本計画に特筆すべきことは？



遠藤 真弓

Q 気候非常事態宣言をすべきでは？

A 今後、協議する考え

A 前計画と大きな変更点はないが、パリ協定を踏まえて必要な取り組みを盛り込んでいる。

Q 長野県は「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ」の決意表明をし、県内に呼びかけている。当市はどう受止め行動するのか？

A 地球温暖化への取り組みは重要。令和2年度に地球温暖化対策実行計画の見直しにあわせ「気候非常事態宣言」も協議する。

Q 今こそ太陽光発電システムへの補助を再開すべきと思うがその考えはあるか？

A 令和2年度から新たな「地球温

か。この補助はとても大切なもの。圧縮されれば、施設に入所し続けることも困難になる。

A 厚生労働省の社会保障制度審議会・介護保険部会で昨年12月、軽減を受けられる方の所得要件を見直す案が示されている。国の動向を注視していきたい。

Q 「制度改善するな」という声を国にはっきりと言っていくべき。

A 全国市長会も昨年11月、介護職員の処遇改善のための適切な報酬の評価・設定を国に提言している。今後も、国へ働きかけしていきたい。

Q BPR手法を活用した業務改革の考えは？

A 先進事例を参考に検討する



今井 康善

Q BPR(ビジネス・プロセス・リエンジニアリング)手法を活用した総合窓口による住民サービスの向上が図れないか？

A 総合窓口は先進事例の研究や専

門業者の聞き取り等で検討したが、職員の配置、庁舎レイアウト変更の課題がある。担当者が相談に乗って同一庁舎内で手続きが完了できるため導入に至っていない。

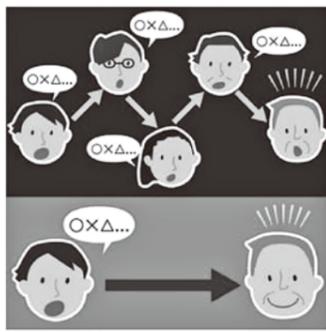
Q 業務フローの見直しにより内部管理業務改革について全国でモデルプロジェクトが行われている。市の取り組み状況は？

A モデルプロジェクト等を参考に研究している段階。今後はICTとの組み合わせによる実施が効果的と考えている。

Q RPA・AI等を活用した会議録等作成支援システムを導入予定だが他に検討しているものは？

A 先進事例を研究し費用対効果を検証しながら検討していく。

★要望：市民サービスの向上、業務改革により働き甲斐のある職場を。



業務フロー見直しで市民サービスの向上と働き方改革

Q 学校プールの整備計画

A 老朽化した学校プールの現状は？

A 岡谷西部中を除き、昭和30～40年代に整備されたプールを補修して使用している。経年による老朽化が進んでいるが、不具合があれば修繕を行い授業に支障がないよう努めている。

Q 学校プールの将来負担軽減に向けた集約化についての所見は？

A 市民プールの活用やプール施設の統合については移動時間や移動手段の課題がある。必要に応じて研究を進めていきたい。

★要望：市民プールへ集約化、民間ス

Q コドモテラスについて

A 民間実施団体との連携は？

A おかやコドモテラスの開催にあたりボランティアや民間団体に学習指導や食事の準備などご協力いただいたほか、食材の提供など支援をいただき感謝をしている。本年度は市内でも食堂や子どもの居場所づくりを実施している民間団体と意見交換会も開催した。

Q 民間実施団体と企画の段階から一緒に参画することは可能か？

A モデル事業として実施する中で、既に事業を実施している民間団体と



おかやコドモテラスで、提供されたサツマイモ

のネットワークづくりにも取り組み、それらの情報交換の場などに参加いただくなど民間団体にもお力添えいただきたいながら、官民連携を進めていきたい。

Q 市民総参加のまちづくり基本条例について

A 市民と市と協働で推進



吉田 浩

Q 市民総参加のまちづくり基本条例の取組状況は？

A この基本条例は、市民が自主的かつ自発的にまちづくりに参加するための基本事項を定め、市民と市の役割

を明らかにし協働による市民総参加のまちづくりを推進するための条例である。第5次岡谷市総合計画に基づくまちづくりがスタートした今年度から、計画に掲げる基本目標の達成や将来都市像の実現に向け様々な場面で市民意見の把握に努め、市民と市の協働による市民総参加のまちづくりを推進している。

Q 市民総参加のまちづくり基本条例制定後のパブリックコメントの実績は？

A 平成17年から今年度まで計67の計画等の策定に対して寄せられた意見は502件。

Q 新型コロナウィルスによる経済的影響は？

A 既に影響が出ている



浜 幸平

Q 新型コロナウィルスによる経済的影響は？

A 市内製造業23社の調査で6社が影響ありと回答。17社から部品調達網の寸断、中国市場の停滞などを心配する声がある。事業者からは2月末からキャンセルが開始していると聞いている。

Q 重篤化しやすい人への注意喚起と支援体制は？

A ケアマネジメント業務で高齢者宅を訪問する職員による注意、呼び掛けのポイントであると考えていることから、産業振興による働く場の確保、子育て支援のさらなる充実と併せて、若者をターゲットとした情報発信のほか岡谷市での生活体験や岡谷市への移住に対する支援などに注力していく。

Q 人口減少を見据えて公共施設の総資産適正化に対する市の見解は？

A 公共施設は建設から30年以上が経過している施設が全体の約7割将来、大規模改修や更新費用が大きな財政負担になることが予想される。現在、岡谷市公共施設等総合管理計画に基づき、資産総量の適正化を推進している。

Q 地方創生による今後の人口動態は？

A 将来展望人口2060年4万人台の維持



早出 一真

Q 出生数の減少に歯止めをかけ、年少人口を増加に転じることが重要とされるが、市の見解は？

A 若年層の移住・定住が人口減少対

けたまた障がい福祉施設にもチラシを手配した。

Q 岡谷市民病院の感染症指定病院内の二種指定と要件について

A 第二種感染症指定医療機関は県内11医療機関が広域圏ごとに指定されており、指定要件としては、接触・飛沫感染を防ぐ設備条件と、感染症医療の経験を有する医師、さらに感染対策委員会がある設置されているなどである。

第二種感染指定医療機関に指定されている岡谷市民病院



飛沫感染を防ぐ設備条件と、感染症医療の経験を有する医師、さらに感染対策委員会がある設置されているなどである。

Q 移住・交流人口推進は？

Q 移住・交流人口施策は他市比較で優位性が伝えられているか？

A 移住希望者への支援や就業に合わせた移住施策、切れ目のない包括支援に取り組んでいる。今後更なる情報発信が必要と考える。

Q 結婚新生活支援事業の進展状況と今後の見通しは？

A 新規婚姻夫婦ともに34歳以下、世帯所得340万円未満を対象とし、30万円を上限に家賃や引っ越し費用も支援している。平成30年度は4世帯、令和元年度は現時点で6世帯が利用している。

A 最新のものに更新することにより、機能や操作性の向上などに伴い、診断精度が向上するほか、患者の負担軽減にもつながるなどのメリットがある。

Q 現在、産科医不足により分娩は休止しているが、産科医確保による分娩再開の見通しはあるのか？

A 本年4月から産婦人科に新たに常勤医師が1名着任し、2名体制となる予定。市民病院では正常分娩だけでなく異常分娩も扱う必要があることから、安全な分娩を再開するためには更なる体制の充実が必要であり、現時点での再開は困難である。

Q 岡谷市民病院の医療の推進

Q 最新の医療器械整備は、「X線循環器診断装置」や「腹腔鏡手術装置」が予定されているが、必要な医療機器を整備することの効果は？

※新型コロナウイルス感染防止のため、マスクを着用。

【4月6日】

市内の企業で行われた「手洗いマイスター(県認定)」による講習現場にて(株)ツカダファイネスの皆さんから、ご意見をいただきました。

- ①市議会議員に対するイメージは?
- ②議員へ望むことは?
- ③新型コロナウイルスに思うことは?

- ①ピンとこない(はっきりわからない)
- ②若い人たちが増えるまちの実現の施策の提言
- ③我慢して耐えるとき

[塚田尚希さん]

- ①まちのことを考えてくれる人
- ②裏表のない人 相手によって変わらない人
- ③みんなが我慢するとき、今ならまだ、被害を最小限にできる

[向井幹公さん]



- ①民の意見を実現してくれる人、行政・生活の質の向上になってくれる人
- ②行動力、スピード感のある人、今の時代に合った新しい感覚の持ち主
- ③新型コロナウイルスのような不透明な時代の時こそ、議員には頑張ってもらいたい

[小口 崇さん]



ご協力いただいた企業

●市内でウェットプロセス装置と洗浄機を製造する株式会社 ツカダファイネス

代表取締役社長

塚田 功さん

新型コロナウイルス感染症に対する岡谷市議会の対応

岡谷市議会では、岡谷市が設置した「新型コロナウイルス感染症岡谷市対策本部」での方針決定について、議員間で情報の共有を図るとともに、全員協議会において、市側から現状の報告を受けるなど、状況把握に努めているところであります。

また、岡谷市議会議員としての対応については、「岡谷市議会議員の新型コロナウイルス感染防止のための行動指針～感染を広げないため～」を定め、議員一人ひとりがこの行動指針を踏まえた行動をするよう意思統一を図っております。

編集後記

例年であれば…

冬のトンネルを抜けて、陽光が濃くなり、木々が芽吹き草花たちの鮮やかな色が生活に彩を添え、心が弾む季節を迎える予定でした。

ところが、現在、見えない敵(新型コロナウイルス)に私たちの生活が脅かされています。

「密閉・密集・密接の3密の回避」「不要不急の外出は自粛」テレビや新聞報道で繰り返されるこの言葉が、私たちの心を滅入らせ、不安な気持ちを増幅させます。しかし、そればかりではいられません。

まずは、この見えない敵について正確な情報で理解をして、予防策を張ることです。

外出後の入念な手洗い、うがい、そして、一番の予防法は、外に出ない。ステイホーム。(家で過ごすこと)

一見すると、敵を怖がって逃げているようにも思えますが、私たちが外出しないことが、敵と戦う、最強の戦術ではないでしょうか。

少しの間、窮屈ですが、「自分の命、大切な人の命、みんなの命を守る」を合言葉に、みんなで力を合わせて乗り越えましょう。(議会広報広聴委員会一同)

議会広報広聴委員会

- 委員長 藤森 博文
- 副委員長 田村みどり
- 委員 員 吉田 浩
- 今井 康善 / 早出すみ子
- 小松 壮

